

第5回情報化社会と青少年に関する意識調査について（速報）

平成19年7月
内閣府

1 調査の目的

携帯電話やインターネットを始めとするメディア利用に関する青少年の意識と青少年のメディア利用に関する保護者の意識等を把握することにより、今後の青少年育成施策の推進のための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査対象

(1) 青少年調査（平成18年4月1日現在）

満10歳から満29歳までの男女：2,468人（標本数：5,000人，回収率：49.4%）

満10歳から満17歳まで：1,191人（標本数：2,000人，回収率：59.6%）

満18歳から満29歳まで：1,277人（標本数：3,000人，回収率：42.6%）

・小学生319人（4年生：4人，5年生：164人，6年生：151人）

・中学生451人（1年生：148人，2年生：165人，3年生：138人）

・高校生396人（1年生：130人，2年生：153人，3年生：113人）

(2) 保護者調査

青少年のうち上記の保護者：1,145人（標本数：2,000人，回収率：57.3%）

3 調査方法

(1) 調査地域 日本全国

(2) 調査期間 平成19年3月9日～3月30日

(3) 調査方法 調査員による個別面接聴取法

（青少年と別居している保護者については郵送回収）

4 過去の調査（（ ）内は実施年度）

第1回調査（昭和56年度），第2回調査（平成3年度），第3回調査（平成8年度），
第4回調査（平成13年度）

本件担当

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付青少年調査担当

〒100-8970 東京都千代田区霞が関3丁目1番1号

電話 03(3581)1191（直通）

FAX 03(3581)0992

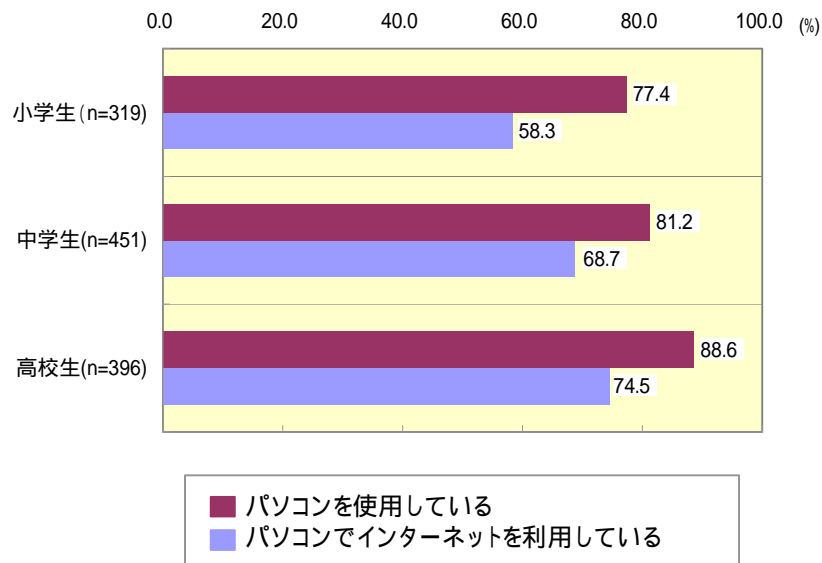
本報告書の内容を引用された場合，その掲載部分の写しを担当あてにお送りください。

〔主な集計結果〕

【パソコン・携帯電話等の使用状況（小・中・高生）】

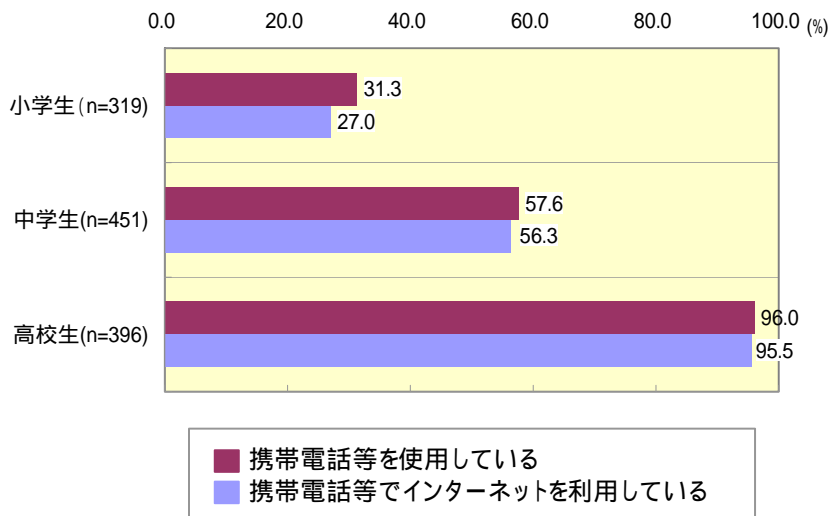
パソコンは，小学生のころから高い割合で使用している。
パソコン使用：小学生 77.4%，中学生 81.2%，高校生 88.6%（問 14）
インターネット利用：小学生 58.3%，中学生 68.7%，高校生 74.5%（問 15）

図1 パソコンの使用状況（小・中・高生）



携帯電話等の使用は，小学生から高校生にかけて急激に拡大している。
携帯電話等使用：小学生 31.3%，中学生 57.6%，高校生 96.0%（問 5）
インターネット利用：小学生 27.0%，中学生 56.3%，高校生 95.5%（問 8，問 10）

図2 携帯電話等の使用状況（小・中・高生）



() 「携帯電話等」とは，携帯電話及びPHSをいう。以下同じ。

【パソコンによるインターネット利用の内容(小・中・高生)】

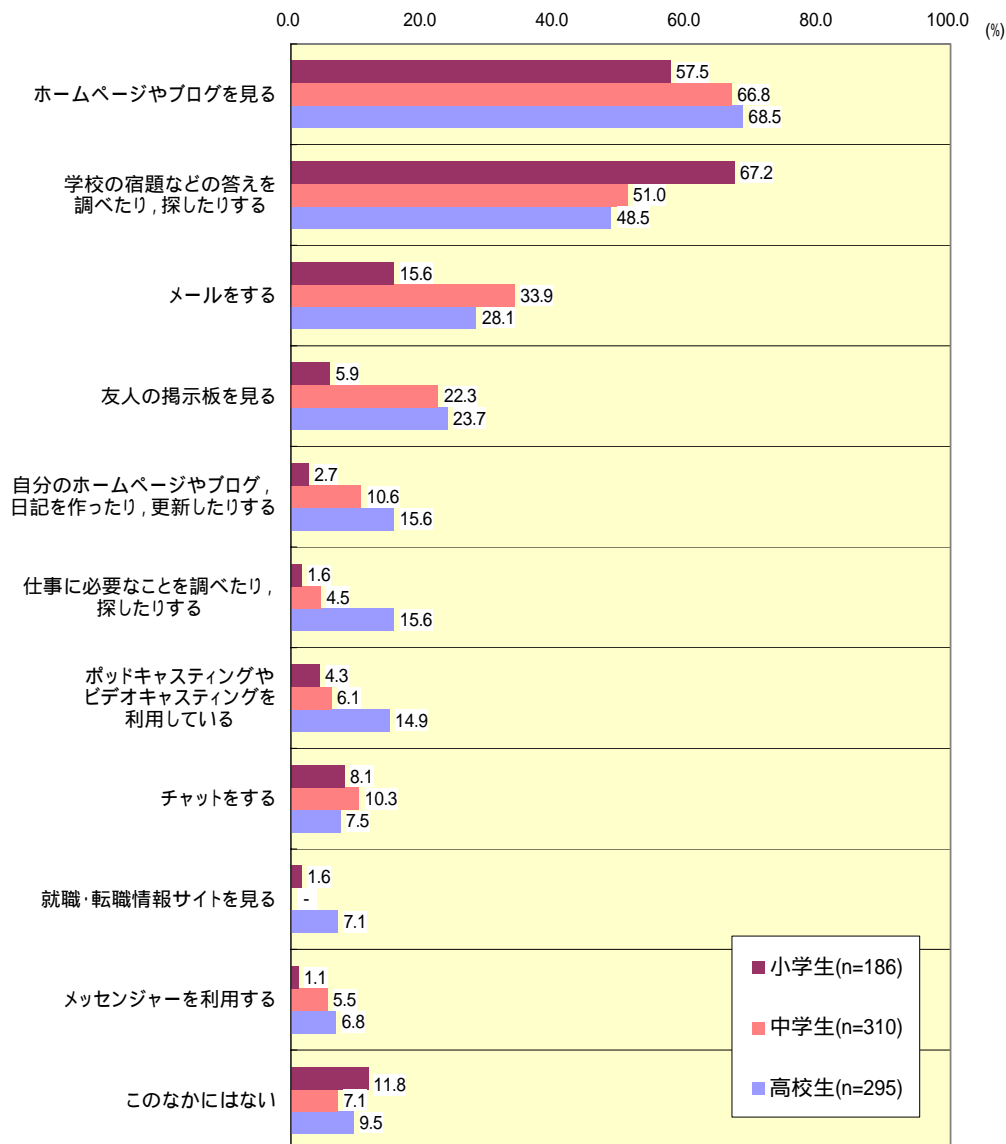
パソコンによるインターネット利用の内容では、「ホームページやブログを見る」、「学校の宿題などの答えを調べたり、探したりする」が多くなっている。(問18)

小学生： 学校の宿題 67.2%， ホームページやブログを見る 57.5%， メール 15.6%

中学生： ホームページやブログを見る 66.8%， 学校の宿題 51.0%， メール 33.9%

高校生： ホームページやブログを見る 68.5%， 学校の宿題 48.5%， メール 28.1%

図3 パソコンによるインターネットでしていること(小・中・高生) (複数回答)



- : 回答者がいないもの

【携帯電話等でのメール利用及び情報サイトにアクセスして行うこと（小・中・高生）】

携帯電話等を使用している者のほとんどがメールを利用している。（問8）
 情報サイトにアクセスして行うことでは、「ホームページやブログを見る」が最も多く、
 次の、「友人の掲示板を見る」となっている。（問12）
 *小学生については、回答数が25と少ないため、参考として計上している。

図4 携帯電話等でメールを利用（小・中・高生）

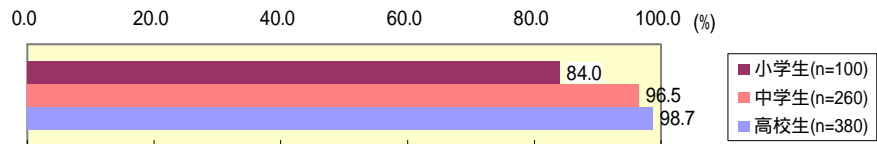
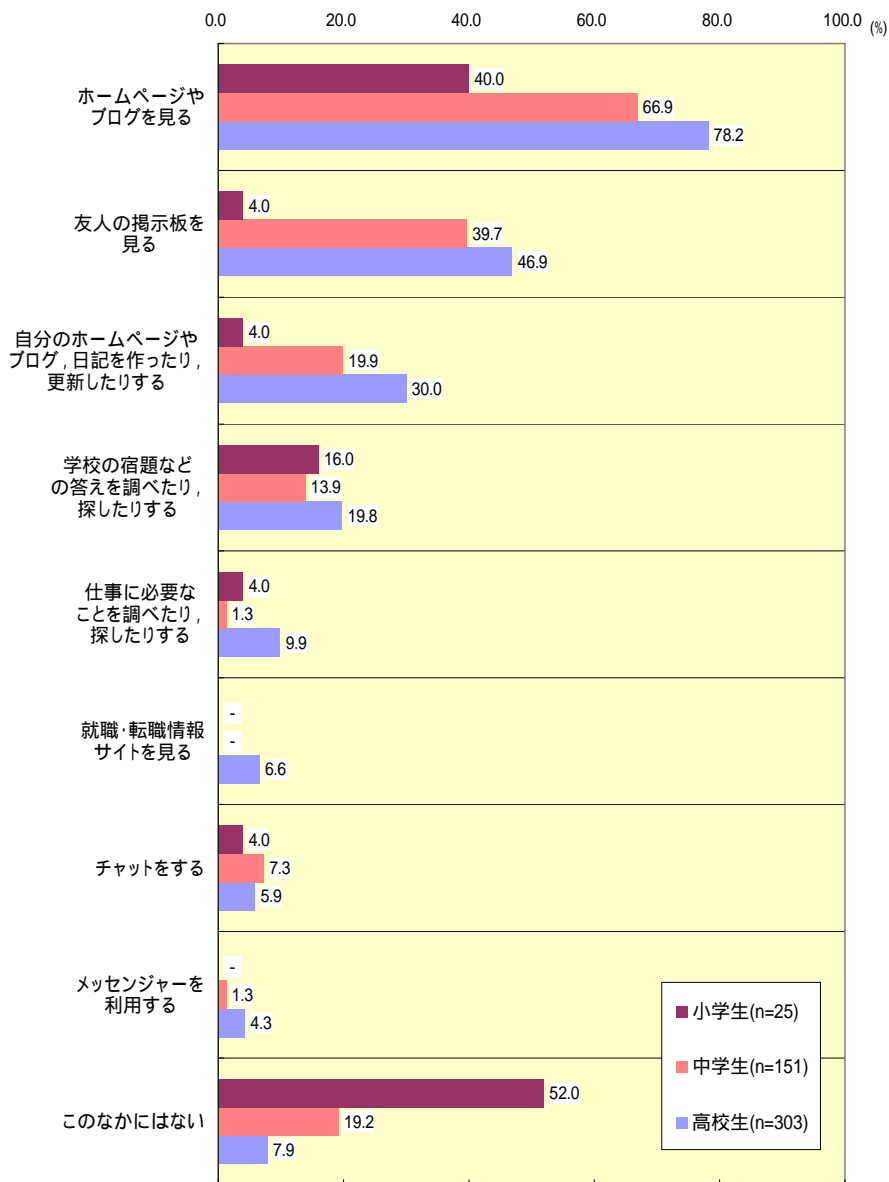


図5 携帯電話等で情報サイトにアクセスして行うこと（小・中・高生）（複数回答）



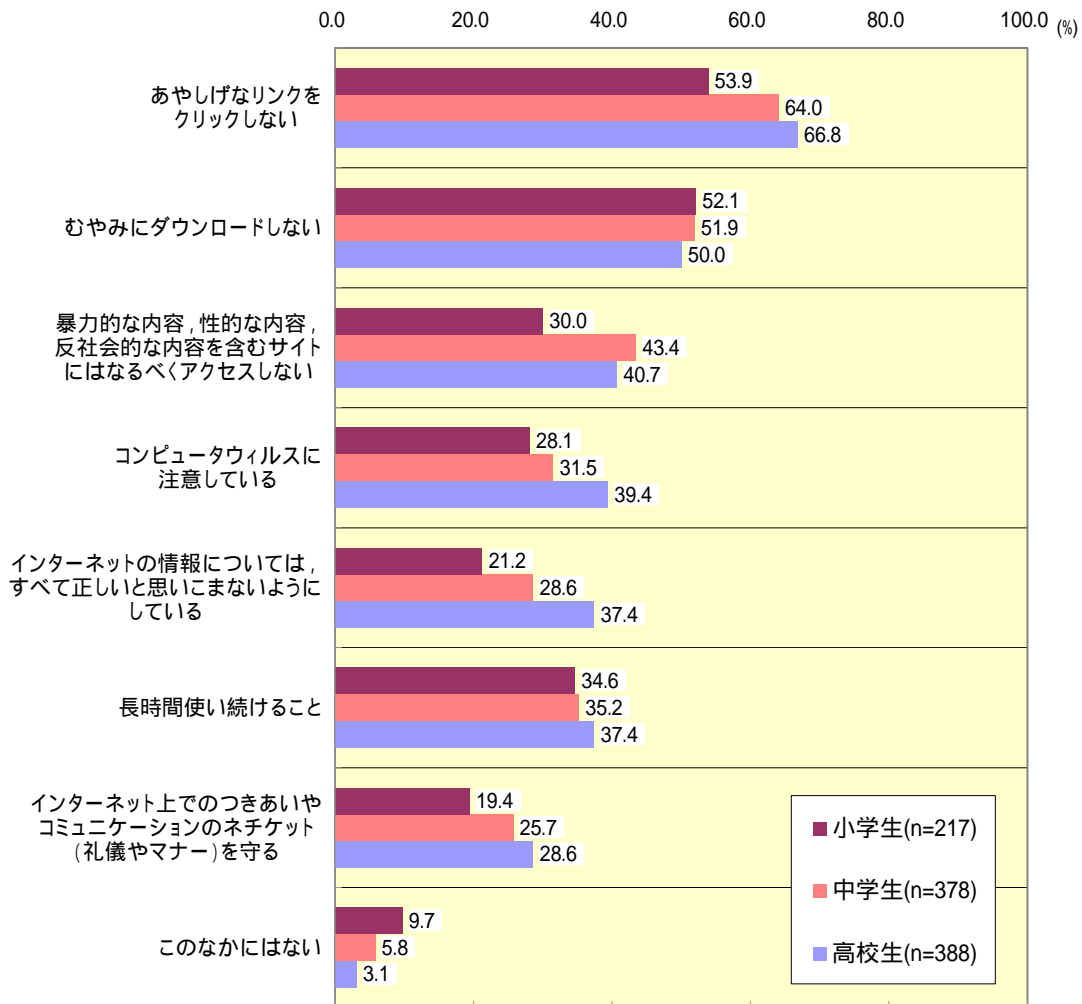
- : 回答者がいないもの

【インターネット利用時に気をつけていること(小・中・高生)】

インターネット利用時に気をつけていることでは、「あやしげなリンクをクリックしない」が最も多く、次いで「むやみにダウンロードしない」、「暴力的な内容、性的な内容、反社会的な内容を含むサイトにはなるべくアクセスしない」となっている。(問22)

あやしげなリンクをクリックしない：小学生 53.9%，中学生 64.0%，高校生 66.8%
 暴力的、性的、反社会的な内容を含むサイトにはなるべくアクセスしない
 ：小学生 30.0%，中学生 43.4%，高校生 40.7%

図6 インターネット利用時に気をつけていること(小・中・高生) (複数回答)



【子どものインターネット利用に関して心配なこと（保護者）】

子どものインターネット利用に関して心配なことでは、「暴力的な内容，性的な内容，反社会的な内容を含むサイトへアクセスすること」，「詐欺などの犯罪に巻き込まれること」等となっている。（保護者問6）

子どもが暴力的，性的，反社会的な内容を含むサイトにアクセスすること

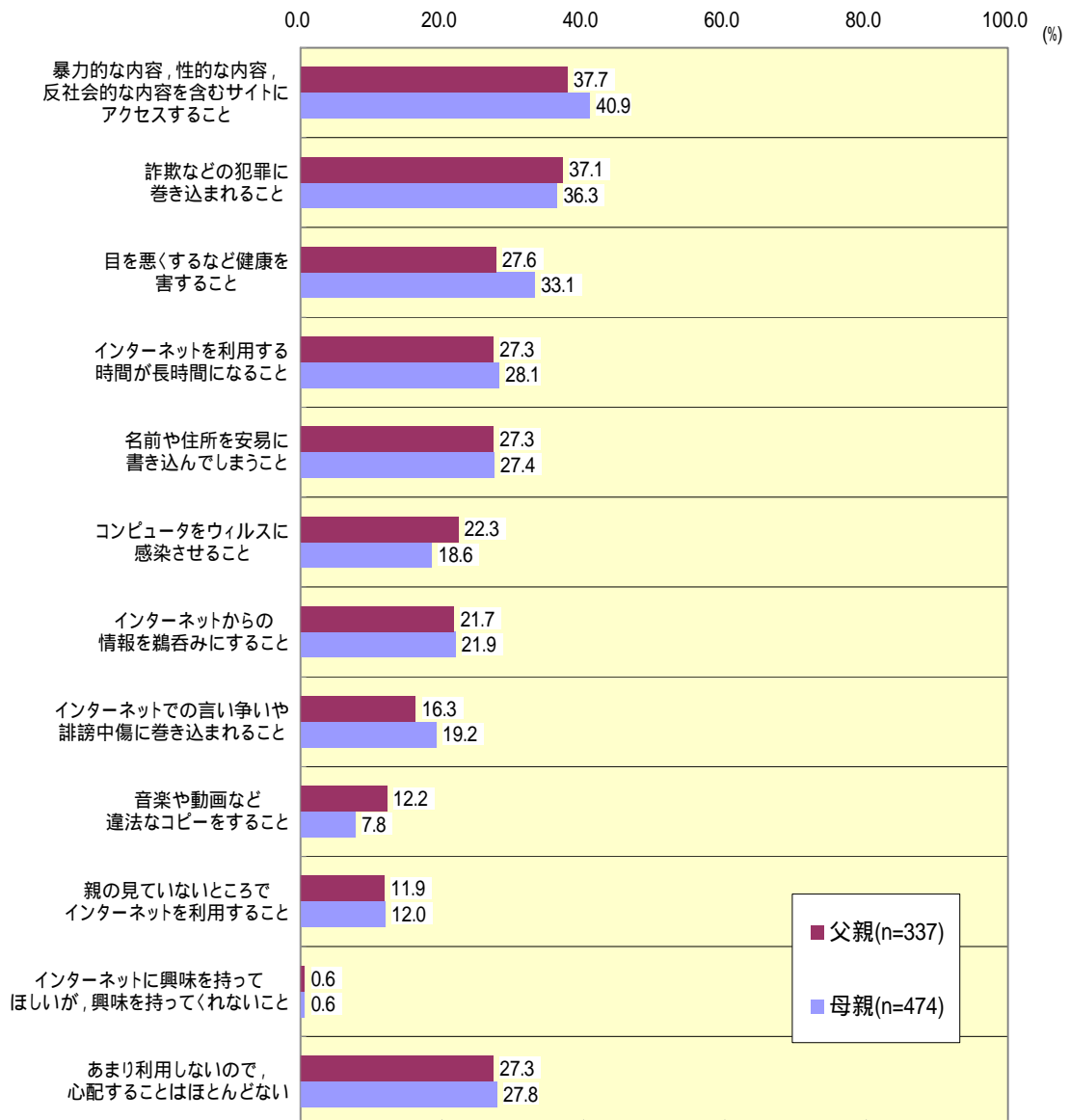
：父親 37.7%，母親 40.9%

詐欺などの犯罪に巻き込まれること

：父親 37.1%，母親 36.3%

図7 子どものインターネット利用に関して心配なこと(保護者)

(複数回答)



【パソコン・携帯電話等を利用している人のフィルタリング・サービス等の認知・使用状況（小・中・高生，保護者）】

フィルタリング・サービス等は，認知率，使用率ともに低い。(問 32,33，保護者問 12,13)

パソコンのフィルタリング・サービス

知っている：小学生 2.2%，中学生 11.3%，高校生 16.9%，父親 42.6%，母親 28.9%

使っている：小学生 0.5%，中学生 1.0%，高校生 2.7%

携帯電話等のフィルタリング・サービス

知っている：小学生 3.5%，中学生 7.1%，高校生 13.8%，父親 32.3%，母親 16.5%

使っている：小学生 1.2%，中学生 0.8%，高校生 1.1%

図8 パソコンでインターネットを利用している人のフィルタリング・サービスの認知・使用等の状況（小・中・高生，保護者） (複数回答)

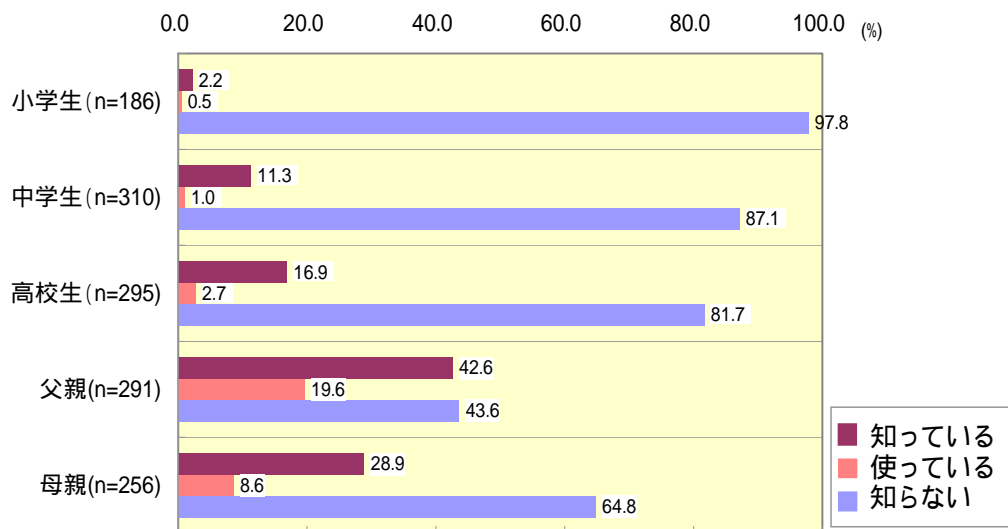
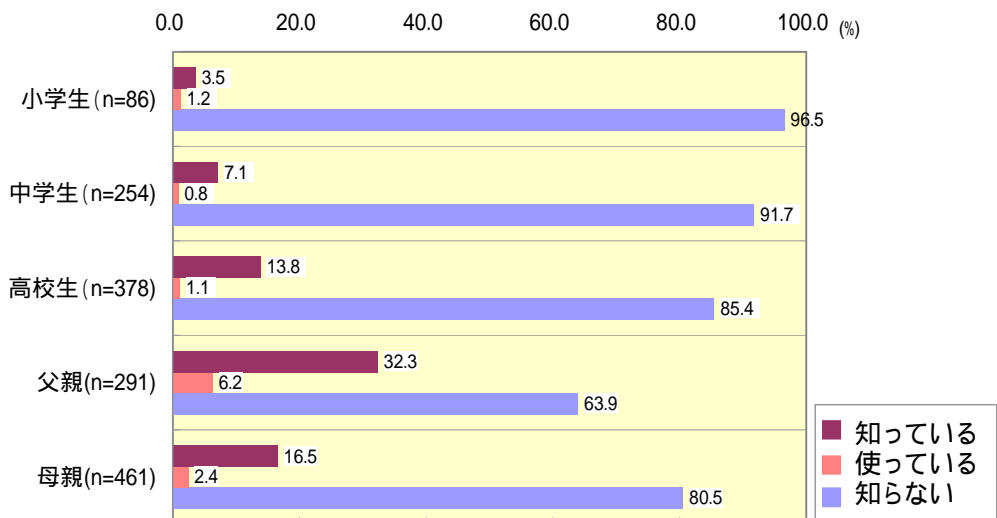


図9 携帯電話等でインターネットを利用している人のフィルタリング・サービスの認知・使用等の状況（小・中・高生，保護者） (複数回答)



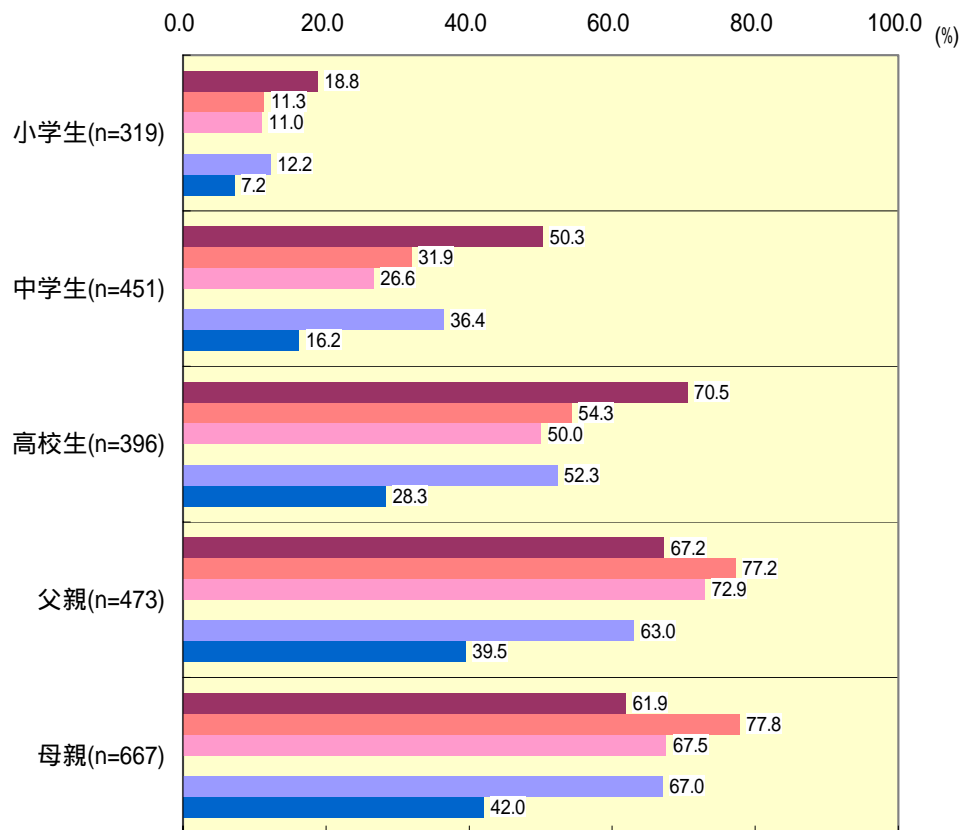
【「出会い系サイト」の利用についての知識（小・中・高生，保護者）】

「出会い系サイト」利用に関連する犯罪被害の実情や携帯電話の潜在的な危険性についての認識は余り高くない。（問 29，保護者問 15）

出会い系サイトを利用した結果として犯罪に巻き込まれた被害者の大半が中学・高校生であること：父親 63.0%，母親 67.0%

出会い系サイトに関連して検挙された事件のうち，携帯電話等を使用して知りあったものが9割以上あること：父親 39.5%，母親 42.0%

図10 「出会い系サイト」の利用について知っていること (複数回答)



- 18歳未満の人が出会い系サイトを利用してはならないこと
- 18歳未満の人に(性交の相手や)お金を渡すことを示して交際することなどを求めることは，法律で禁止されており，罰せられること
- 18歳未満の人が，出会い系サイトの掲示板に書き込みをして，(性交の相手や)お金を目的の交際などを求めること((不正誘引))は，法律で禁止されており，罰せられること
- 出会い系サイトを利用した結果として，犯罪に巻き込まれた被害者の大半が中学・高校生であること
- 出会い系サイトに関連した犯罪として検挙された事件のうち，携帯電話等を使用して相手と知り合ったものが9割以上あること

()内は保護者の選択肢にのみ記載している。